

2017年度 夏の寺子屋 活動報告

8月9日(水) 午後 開校式



開校式で理事長のあいさつ



汽仙沼からの招待者と長万部から参加の子供達

8月9日(水) 午後 テニス教室 ①



中間・鶴田両コーチの指導で初回テニス教室



まず、コート上で前後、左右に走り・ボールを手でキャッチし投げる・それからやっとラケットで打つ

8月9日(水) 夕方 歓迎のバーベキュー



ホタテ・サンマ・焼き鳥・ウインナー・とうもろこし等みんな美味しかった！

8月10日(木) 町内見学 午前 長万部公園・とみのの森



長万部町のバスで町内見学に出発、最初は長万部公園に

■長万部公園・とみのの森■

春、桜の花々が咲き乱れ、お花見で賑わうと、夏にはキャンプでたくさんの方が集まる総合公園。町花のあやめ等の花と緑の庭園や、レクリエーション施設、テニスコート等のスポーツ施設があり、ご家族やご友人同士、お一人でふらり、「とみのの森」を散歩するなど、たくさんの楽しみ方があります。キャンプ場としての設備も清潔で万全、テントサイトその他、トイレや流し台を完備したバンガローも人気です。

8月10日(木) 町内見学 午前 美利河ダム



美利河ダム

美利河ダムは後志利別川の上流に位置し、洪水調節・流水の正常な機能の維持・かんがい・発電の4つの目的を持って平成3年に完成した多目的ダムです。美利河ダムには約2.4kmの魚道が整備されており、観察窓からは季節の変化に応じた魚道内の魚の様子を自由に観察することが出来ます。



8月10日(木) 町内見学 午前 町民センター



教育委員会の北山さんに館内を案内して頂きました
アイヌの歴史・衣装、鉄道村の展示品、文化財等を見てまわりました

長万部町民センター

■概要・見所

- ・郷土資料室／1669(寛文9)のシャクシャインの乱から1983(昭和58)年の開基110年までの、町の歩みをたどる多くの民俗文化財が展示されています。
- ・鉄道村／かつて長万部町は鉄道の町として栄え、その当時の思い出として「見て、触れて、動かせる」鉄道グッズを展示しています。
- ・和田芳恵コーナー／長万部町字国縫に生まれ、1964(昭和39)年に直木賞を受賞、後に故郷を描いた「暗い流れ」で日本文学大賞に輝いた和田芳恵の作品や、愛用した道具、研究資料などが展示されています。
- ・埋蔵文化財コーナー／「円筒上層式土器」や「石刃鏃」など、長万部町の遺跡から発掘された貴重な資料を展示しています。
- ・その他／静狩湿原コーナー、静狩金山コーナー

8月10日(木) 昼 おそばとカニ飯



昨年に引き続き、河合さんが作ってくれたおそばとカニ飯をいただきました

8月10日(木) 午後 テニス教室 ②



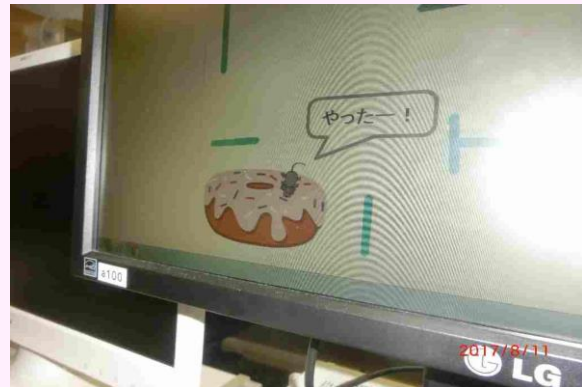
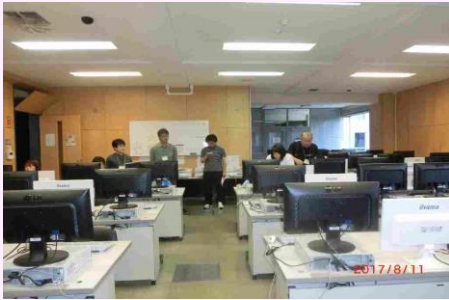
2日目はストローク、ボレーを教わりました

8月10日(木) 午後 ピリカ温泉



8月11日(金) 午前 プログラミング教室

田村先生の指導のもと、スクラッチ2.0を使ってゲームを作り楽しみました



Scratch(ビジュアルプログラミング)とは

Scratchは、主に子ども向けに利用されている、ビジュアルプログラミングを用いたプログラミング環境だ。マサチューセッツ工科大学(MIT)メディアラボ(Media Lab)のライフロングキンダーガーテングループ(Lifelong Kindergarten Group)が開発している。

ビジュアルプログラミングとは、パズルを組み立てるように、ブロックとして用意されている「命令」を、いろいろ組み合わせるプログラミング環境だ。そもそも「プログラミング」とは、さまざまな「命令」(Scratchの場合は、例えば猫の絵に「動け」「鳴け」と命令する)を組み合わせ、コンピュータに実行させることである。英語だと「programming」、つまり「(コンピュータに命令する順序を)計画する」ということだ。

「コンピュータに命令する」と聞くと「専門的な文字をたくさん書かないといけないため、よく分からない」と思うかもしれないが、マウス操作だけでできるビジュアルプログラミングなら直感的にプログラミングができるため、子どものプログラミング教育の現場でもよく使われている。

なぜ、「プログラミング」なのか

昨今のプログラミング教育の必修化の流れにより、「なぜ、プログラミングを教える必要があるのか」「子どもにはプログラミングよりもっと教えるべきことがあるのではないか」などの議論が多く聞かれるようになった。

MITメディアラボ ライフロングキンダーガーテングループのミッチェル・レズニック氏はTEDの動画で「子どもたちにプログラミングを教えるメリットは彼らが新しい技術を使うだけでなく創造できるようになることにある。プログラミングはコンピュータの専門家だけのものではなく万人のものである」と訴えている。

子どもにプログラミングを教える必要性についての意見は多くあるが、要約すると、**アイデアを形にする力・創造力と、物事を順序立てて考える力・問題解決能力・論理的思考力を、“楽しみながら”身に付けることができるということに尽きる。詳細は下記記事を参考にしてほしい。**

また、ITが金融、医療、製造業、小売、観光、農業、漁業、公共、教育、サービス業などあらゆる業種で重要な役割を担っている現在、「コンピュータを使って何を実現できるのか」「さまざまな業務に使われるシステムがプログラミングによってどう動いているのか」を知っておくことは大きなメリットとなるだろう。

「子どもに何か学ばせてみたい」という方は、その選択肢の1つとしてプログラミングを検討してみてもいいだろうか。PCさえあれば、無料で手軽に始めることができるので、取りあえず体験させてみて、子どもが飽きてしまったら無理やり続けさせることはないと思う。

8月11日(金) 午前 テニス教室 ③



3日目は走ってボール打つ練習、サーブ等を教わりました

8月11(金) 午後 書道教室で藍染め体験

昨年好評だった藍染めを今年もみんなで楽しみました



NHKの取材を受けました

8月11日(金) 夜 尺八とピアノのコンサート



今年も安島先生の尺八と堀川さんのピアノ演奏楽しみました



8月12日(土) 朝 6:55 NHKニュース

NHKのニュース番組「おはよう日本」地方版で、昨日の藍染めの様子が放映されました

2017年 夏の寺子屋 NHKニュース



CIMG4243



CIMG4244



CIMG4245



CIMG4246



CIMG4247



CIMG4248

8月12日(土) 午前 テニス教室 ④

4日目は雨天のため、体育館でミニゲームを楽しみました
最終日はコートで試合をしたかったが残念でした

昨年中間コーチに指導を受けたY君は汽仙沼で壁打ち練習してきた様で、
6回目の今年、見違える様に上達していて、こちらも嬉しかったです





最後に集合写真を撮影して4日間のテニス教室終了

8月12日(土) 午前 英語教室

クーバ先生・倉田先生の英語教室でゲーム等を楽しみました



8月12日(土) 午後 閉校式



閉校式で幡野理事長の挨拶の後、各人の藍染め作品を発表しました





最後に、Y君のお母さんがお別れの挨拶

8月12日(土) 午後 お見送り

駅まで長万部町のバスで送って頂き、ホームで見送り、4日間の活動が無事に終了しました



◆皆さん、また来年元気な顔を見せて下さい！◆